

26日の金曜日には、壮行会という行事があった。夏の大会を目前に控えて、部活動の選手たちを称え応援する場である。各部の選手たちが体育館に一堂に集まり、大会を控えた決意を語り自らを鼓舞し、仲間が拍手で応援する▼その翌日から大会がスタート。27日はバスケットボールの男女の応援に向かった。ユニホームに身を包みコートに立つ姿を見て、まずカッコいいなと思った。表情も引き締まって見える▼特にバスケットに詳しいわけではないが、きっとボールを回しているあの男の子がポイントガードというポジションの子なのかな。あの子はセンターかな、いろんなことを考えながら見ていた▼男子も女子も攻撃の形があるようで、その形をうまく作ろうとしている。最後のシュートまで持ち込めれば、あとは入るか入らないかのようだ。パスカットされてしまうと、相手の速攻を受けてしまう▼小さなコートで少ない人数で素早く攻守が入れ替わりながら進んでいく試合展開は、とてもテンポがよかった。「選手たちの一体感」と「スピード感」を存分に味わうことができた。ボールがリングに吸い込まれ、ネットをくぐった時の「スパッ」という音も爽快▼男子顧問の先生が選手にこんなことを言ってみえた「自分たちのバスケットをやろう」何度も何度も繰り返し練習してきた形を実践で挑戦していこうという意味だと思った。できたと思う。